

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム主催 キックオフフォーラム開催結果

- 平成30年7月30日に「九州フォーラム」は、今後、産・学・官・民が一つとなってメンテナンスの課題解決に取り組んでいくため、キックオフフォーラムを開催。
- 2名の講演者からはインフラを取り巻く状況や革新的技術開発へ向けた取り組みや、自治体が抱える課題として持続可能なメンテナンスの仕組み構築に向けた取り組みを行っていること等を参加者に共有していただきました。
- パネルディスカッションでは、「自治体の取り組み事例の水平展開」、「行政・民間・市民の連携」、「インフラメンテナンスの理念の普及」などの意見交換により、会場は熱気に包まれ、「九州フォーラム」への期待の声が多く寄せられました。

【開催概要】
〈日 時〉平成30年7月30日(月) 13:30~17:00
〈会 場〉TKP博多駅前シティセンターホールA
〈参加者〉253名(国・地方自治体62名、民間企業等189名、学校関係者2名)

〈開会挨拶〉 長崎大学副学長 松田 浩 氏 (日野 伸一フォーラムリダー代理)
〈基調講演〉 国土交通省 総合政策局事業総括調整官 吉田 邦伸 氏
「インフラを取り巻く状況とインフラメンテナンス革命」
〈特別講演〉 長崎市 中央総合事務所 理事 森尾 宣紀 氏
「長崎市におけるインフラメンテナンスの取り組みについて」



開会挨拶



基調講演



特別講演

〈パネルディスカッション〉 テーマ「九州フォーラムへの期待」
○コーディネーター (一社) ツタワールドボク代表理事 片山 英資 氏
○パネリスト ・東峰村 村長 澁谷 博昭 氏
・玉名市 建設管理課 参事 木下 義昭 氏
・LOCAL & DESIGN(株) 代表取締役 高山 美佳 氏
・長崎大学副学長/イノベーションセンター長 松田 浩 氏
・国土交通省 九州地方整備局 企画部長 藤巻 浩之 氏
○アドバイザー 国土交通省 総合政策局 事業総括調整官 吉田 邦伸 氏



パネルディスカッションの様子



〈主な意見〉
◆先進的な地方自治体の取り組みをマッチングさせて水平展開する場となるのが、九州フォーラムの役割。
◆「ドローン空撮写真の活用」などインフラの魅力を伝える工夫により、土木技術者のイメージ像を確立させ、インフラメンテナンスの理念を普及させることが大事。
◆一般への広報と同時に、後に続く人材を確保するためにも、組織内の広報も重要。
◆行政が実績にとらわれず、民間の新しいイノベーションを生かしていけば、コスト縮減にも繋がるのではないかと。
◆市町村が管理するインフラの特性把握を行い、ローカルルールを導入等を含めた対応方針を九州フォーラムで議論してほしい。
◆九州は産・学・官・民の一体感を持っており、九州から先進的な取り組みの風を吹かせてほしい。



会場の様子

◇ 今後、九州フォーラムでは地方自治体のニーズ調査を行い、シーズ技術とのマッチングイベントを予定。